Unison ユニゾン

No.37　令和５年６月発行

Unisonとは、音楽用語で一つの旋律を全部の音声が歌ったり演奏する意味から、すべての人が性にとらわれず、同じ立場で意見を主張できる社会の実現を願って名付けました。

★もくじ★

男女共同参画週間/輝く女性の今インタビュー ―― ①
LGBTQ/リプロダクティブ・ヘルスライツ
ダイバーシティ社会について ―― ②③
お知らせ・募集 ―― ④

編集・発行　八潮市企画財政部人権・男女共同参画課
〒340－8588　埼玉県八潮市中央１－２－１
Tel　048－996－2111(☎内811)
Fax　048－995－7367
URL　https://www.city.yashio.lg.jp/

令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

無くそう思い込み、守ろう個性　みんなでつくる、みんなの未来。

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

内閣府では、「男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ」をテーマに掲げ募集したところ、応募総数4,326点の応募があり、上記のキャッチフレーズが選ばれました。

この1週間が、皆さんの「男女共同参画」を考えるきっかけになることを願います。

輝く！女性の「今」を取材！

株式会社　山本商店　代表取締役社長　**田中　恵子**さん

八潮市大曽根で産業廃棄物収集運搬業を営む、株式会社山本商店の代表取締役社長である田中恵子さんにお話しを伺いました！

▲左から2番目が田中さんです！

Q：会社を経営していく上で、大事にしていることはありますか？

A：大事にしていることは「笑顔」です。現場などで特に重量物を扱う時は、一歩間違えれば命に関わる危険な内容もあるため、緊張感も大事ですが、始まりと終わりの挨拶は「元気に笑顔で」を心がけています。

Q：山本商店さんや、やしお駅前公園で実施される八潮朝市で、不要になったぬいぐるみやおもちゃを回収し、海外へ送る事業を展開していますが、この事業を始めたきっかけを教えてください。

A：あるものを活かす「リユース」に着目したことが始まりです。特にぬいぐるみやおもちゃは、お子様の成長により不要になるサイクルも早く、まだ使えるものも多いです。日本では燃えるごみとして出されてしまうけれど、海外では需要がある。私たちが必要としている方々へのパイプ役となり、ぬいぐるみたちの第2のストーリーをつくることは、ぬいぐるみたちにとっても良いことであり、燃えるごみとして処分されないのであれば、CO_2削減にもつながり、環境にも良い取り組みだと考えています。

Q：月1で近隣の清掃活動を実施しているとのことですが、清掃活動の名称を「夢拾い」としている理由をお聞かせください。

A：ごみを拾って街がきれいになることで、みんなが幸せになり、そこに夢が広がっていくという考えからです。夢を持てる環境づくりが目標です。

Q：今後、山本商店さんで実施していきたい事業、夢があればお聞かせください。

A：農業に関わることをしたいと思っています。理想は循環社会、フードロス問題にも取り組みたいですね。
さらに言えば、食育なども含んだ、農業を農産業として、全ての人が何らかの形で農業に関われる仕組みをつくりたいです。

Q：田中さんが仕事のやりがいを感じる時はどのような時でしょうか？

A：お客様からの「ありがとう」の言葉をいただいた時です！

―― 田中さん、ありがとうございました☆
今後のますますのご活躍を期待しています！

Q「LGBTQ」とは？

A 性的少数者を表す総称のひとつです。

L	Lesbian	女性の同性愛者
G	Gay	男性の同性愛者
B	Bisexual	両性愛者
T	Transgender	身体の性と自認する性で違和がある人
Q	Questioning	自身の性自認や性的指向が定まらない（定めない）人
Q	Queer	一言では定義できない性の多様性を示します。

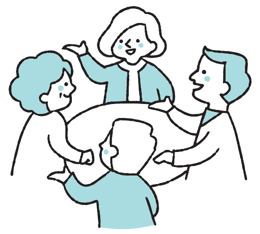
ー用語を理解しようー

- カミングアウト　自分が性的少数者であることを打ち明けること。
- アウティング　本人の許可なく、性的指向や性自認を第3者に言いふらすこと。
- Ally（アライ）　LGBTを理解、支援する人。

LGBTについて考える ～言葉遣いについて考えてみよう～

性別を限定してしまうような言葉遣いは、相手に違和感や嫌悪感を与えてしまうこともあります。

決めつけで話さずに、相手に配慮した言葉遣いを心がけることが大切です。



シチュエーション別の言い換え例

★彼氏・彼女　→　恋人・パートナー
★ご主人・奥さま　→　パートナーの方・お連れ合い
★お父さん・お母さん　→　保護者の方・ご家族の方

（電通ダイバーシティ・ラボ2022年版「アライアクションガイド」より）

リプロダクティブ・ヘルスライツについて理解を深めよう！

「リプロダクティブ・ヘルスライツ」とは、1994年にエジプト・カイロで開催された、国際人口開発会議において提唱された概念で、「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。

リプロダクティブ・ヘルス　性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。

リプロダクティブ・ライツ　自分の身体に関することを自分自身で選択し、決められる権利のこと。

女性は妊娠や出産など、男性とは違った身体的な特徴があります。
女性が生涯にわたって身体的、精神的、社会的に良好な状態であるためにも、性のこと、妊娠、出産に関係すること、性感染症等、すべての人が正しく性の知識を習得すること大切です。

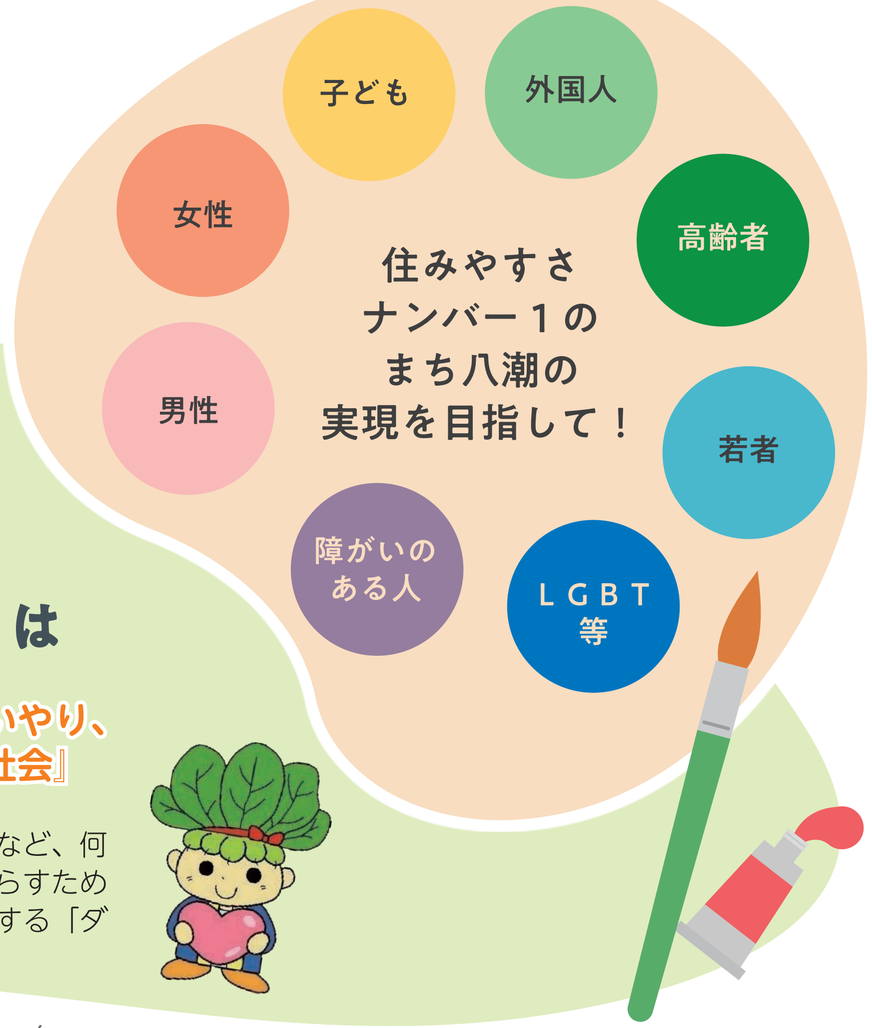
自分らしく生きるためにも、「自分のからだは自分で守る。自分で決断する。」を第一に、大切な家族やパートナー等にその大切さを伝えていきましょう。

社会の多様化が進む中、誰もが安心して自分らしく暮らせる八潮市であるために、令和5年3月に「八潮市ダイバーシティ社会推進方針」を策定しました。

Q ダイバーシティ社会とは？

A ダイバーシティ社会とは、年齢や性別、障がいの有無、国籍、文化的背景、性的指向・性自認などといったさまざまな属性に配慮しながら、違いを受け入れ、分かり合うことで、互いに活かし合うことができる「多様性」のある社会を指します。このようなダイバーシティ社会の考え方は、「誰一人取り残さない」というSDGｓの基本理念にも沿ったものです。

▲SDGｓは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された世界共通の目標です。



八潮市の目指すダイバーシティ社会とは

『八潮市で暮らす全ての人が主役となり、お互いを思いやり、理解し、助けあいながら、安心して暮らすことができる社会』

八潮市においても、ひとり暮らしの高齢者や障がいを持つ方、外国人など、何らかの支援を必要とする人々も多く住んでおり、地域で安全、安心に暮らすための環境づくりを進めるためにも、多様性を受け入れ活かすことを理念とする「ダイバーシティ社会」を推進することが重要です。

ダイバーシティ社会の効果！

- 安心して能力が発揮できる！
- イノベーション（変革）が起こる！
- 価値観や世界観が広がる！
- 排除が生み出す損失が減少する！
- 地域のつながりが向上するため、災害時なども安心！
- 新しい住民の流入と企業の新規参入が期待できる！

ダイバーシティ社会の推進は地域の未来を左右する重要なテーマ！

お知らせ・募集

各種相談窓口が変更になりました！

令和5年4月より、市の行政組織の一部が改正となり、この度「子ども家庭部子ども家庭支援課」が新設となりました。
子ども家庭支援課の「女性相談係」でDV相談、女性相談の受付を行うことになりましたのでお知らせいたします。
ご利用の際は、下記内容をご確認いただき、ご予約をお願いいたします。

八潮市女性相談室

市では、様々な悩みを持つ女性を対象とした相談を実施しています。
夫婦のこと、家族のこと生き方など…。ひとりで悩まないで相談してみませんか？臨床心理士やカウンセラーの資格を持つ女性相談員があなたの悩みに寄り添います。秘密は守ります。
第1水曜日の午前中は集団で行うピアカウンセリングを実施しています。参加者同士が対等な立場で話し合い、仲間同士で支え合う場です。
先ずは個別の「女性相談」を受けた際、相談員に希望をお伝えください。

場所：八潮駅前出張所内相談室
相談日：毎週火・水・木曜日
1日4枠、予約制
①午前10時15分～11時15分
②午前11時30分～12時30分
③午後1時30分～2時30分
④午後2時45分～3時45分
予約：子ども家庭支援課　048-993-9437

八潮市 ＤＶ相談支援室

ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス＝夫婦や恋人など親密な関係にあるパートナーからの暴力）に関する相談をお受けしています。
ＤＶは、殴る蹴るなどの身体的暴力の他、暴言や脅迫などの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力、性行為の強要などの性的暴力など多岐にわたります。
これってＤＶ？と感じたら、少しでも早く相談しましょう。

相談専用電話：048-996-3955
相談日：月・金曜日　午前10時～12時、
午後1時～4時
※面接相談をご希望の方は、予約が必要です。
予約：子ども家庭支援課　048-993-9437

男女共同参画苦情処理制度

市では、男女共同参画に関する市の施策や男女共同参画を妨げる事案に対する市民や事業者からの苦情の申し出を、公平・中立な立場で処理する機関を設置しています。
苦情処理委員は弁護士と大学教授の2名で構成され、申し出の内容について調査を行い、その結果、必要があると認めるときは関係者に対し、助言、勧告、是正の要望等を行います。申し出に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。

「女性人材リスト」にご登録いただける女性を募集

市では審議会等の委員となってくださる方の人材バンクを作成しています。子育てや仕事がひと段落ついた方、市の施策に興味をお持ちの方など、人材リストへの登録者を募集しています。
令和4年4月1日時点で、八潮市の審議会等における女性委員の割合は34％となっており、市の政策・方針決定過程の場への女性の参画はまだまだと言えるでしょう。誰もが暮らしやすい地域を創るためには、多様な意見が必要です。
多くの方からの登録をお待ちしています。（登録された方、全てが審議会委員に選考されるものではありません。）登録に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。

「男女共同参画推進活動事業」実施団体募集

市では、「男女共同参画を推進する」イベントや講演会、研修会などを行っていただく市内で活動する団体に、事業に係る経費（上限5万円）をお支払いします。事業の委託には審査が必要です。
詳細は市ホームページからご確認ください。（締切8月末日）

「地域で豊かに！グループ名簿」登録団体を募集

市では男女が共に地域で活動する場としてサークル活動を応援するため、年1回、会員募集のチラシを作成して、市ホームページや市内公共施設へ配布しています。
現在、掲載いただける団体を募集しています。ご希望の団体は市ホームページから登録用紙をダウンロードし、人権・男女共同参画課まで申請してください。（今年度掲載ご希望の団体は7月末日までにご登録ください。8月以降分は次年度掲載となります。）

相談室だより

新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行されましたね。マスクを外す機会が増えた方も多いかもしれません。ほんの数年前まで、マスク生活が“日常”になるとは想像もしませんでした。私自身は、マスクを着け始めた頃は違和感があったり息苦しさを感じたりしましたが、いつの間にかマスク生活が“フツウ”と感じるようになっていました。

実は、これはＤＶや虐待の話とも似ています。パートナーや親などから暴言を吐かれたり怒鳴られたりした時、最初はつらい・嫌だと感じても、その感覚が少しずつ薄れていくことがあります。暴言や暴力のある生活が“日常”となるのです。酷いことをされていても、「いつものことだから」と何事もなかったかのように生活する方も多くいます。その方にとっての“フツウ”が徐々に変化していきます。

女性相談・ＤＶ相談では、相談にいらした方の“日常”のお話を聴かせていただいています。普段どのように過ごしていらっしゃるのか、どのように感じているのか、改めてお話しすることで見えてくるものがあるかもしれません。生活の中でモヤモヤした時や、悩んだり迷ったりした時は、ぜひ相談にいらしてください。お待ちしています。（相談員）